

辻澤 ひさる ドイツ文學者。大正十一年一月、二十二年東京生れ（一九三二）。
東京大學文學部卒。同大教授。

譯書、マックス・ブロート著『カフカ全集・I 城』（共譯、昭和一十八年二月二十八日新潮社）、ゲオルク・ジンメル著『戀愛論』（高橋義孝共譯、昭和二十八年八月十五日玄海出版社）、マックス・ブロート著『カフカ全集・V ミレナへの手紙』（昭和二十四年五月二十日、決定版一第八卷・五十六年七月二十五日新潮社）、エーゴン・ヤクス著『世界城塞物語』（共訳、昭和二十七年二月十日河出書房新社）、カフカ作『審判』（昭和四十一年五月十六日岩波書店「岩波文庫」）、C・W・ツエーラム著『狭い谷黒い山ーピツタイト帝国の秘密』（昭和五十年二月二十八日新潮社）等。著書『ドイツ文學』（合著・手塚富雄編、昭和二十七年十一月二十日毎日新聞社「毎日のライブラリー」）等。

